



自然の中で笑う子どもたちの笑顔が一番！

## 自然の中でのびのびと！

～自然と遊ぼう2011 4月29日～

4月29日、ありえ俵石自然運動公園で、自然と遊ぼう2011が行われました。

これは、子どもたちに自然と親しんでもらおうと毎年昭和の日を実施されているもので、ゴールデンウィークの始まりを告げるイベントとして定着しています。

この日も多くの家族連れが、アスレチック施設やソリすべりなどで、春の一日を楽しみました。中でも、100メートルのそうめん流し(表紙)は圧巻。来場者は、南島原市特産の手延べそうめんに舌鼓を打ちました。



## 被災地へ、届け！

～深江保育園が復興を祈り、風船飛ばし～

4月29日、深江保育園の園児、保護者らが、布津こんぴら公園で、ひまわりの種をつけた風船を大空に飛ばしました。

ひまわりが放射線物質を吸収しやすいことに着目した同園が、福島原発問題の早期解決を祈り企画。保護者らは、被災地の復興を想い、風船をいつまでも見つめていました。



## 東北へ！復興へ！

～市職員などが東北へ派遣～

南島原市、南島原警察署、南島原消防署は、東日本大震災の被災地に職員を派遣しました。

市では、県の支援チームとして、5月18日までに、15人を5班に分けて派遣。



東北に出発する職員ら。頑張ってください！

派遣された職員らは、救援物資の仕分けや避難所の支援、健康相談などの業務を行いました。市は、今後も継続的に人員を派遣していくほか、3ページに紹介しているとおり、積極的な復興支援を行っていく予定です。

## 孝の心を誇りに

～加津佐津波見小学校児童孝子祭 4月24日～

4月24日、津波見小学校前の鎮魂碑前で、孝子祭が行われました。これは、同地区の偉人、安永安次の遺徳をしのび、毎年行われているものです。



この日は、あいにくの雨。児童らは、テントの下で安永安次を讃える「孝子の歌」を合唱したほか、祭壇の前で孝行を誓いました。

## 新商品ができました!!

～有久間山水園が新商品を報告 5月6日～

5月6日、口之津町の有久間山水園が市長に新商品「山つわぶき」の完成報告を行いました。



同商品はつわぶきの佃煮で、さっぱりとした穏やかな味が特徴。長崎県農工商連携ファンド事業や市の商品開発補助金を利用し開発したものです。新たな特産品「山つわぶき」に大きな期待が寄せられています。

## 絵画「生きる力」を寄贈

～佐藤 政弘さんが絵画を寄贈 5月6日～

5月6日、有家町出身の画家、佐藤政弘さんから、市木「あごころ」を力強く描いた絵画「生きる力」をいただきました。佐藤さんからは、これまでも数点の絵画をいただいております。



寄贈いただいた佐藤政弘さん(中央)と絵画。写真左は兄の春雄さん。

また、佐藤さんは、5月3日から5日までありえコレシヨホールで絵画展を行い、その売上金と会場で募った募金を、全額市に寄託しました。どうもありがとうございました。

## 滝つぼで極上のそうめん

～戸ノ隅公園滝祭り 5月4日～

5月4日、戸ノ隅の滝とその周辺で、戸ノ隅公園滝祭りが行われました。



う滝つぼまでは、500メートル程度。参加者は、春の新緑を楽しみながら滝つぼを目指しました。滝の瀑布の横で、手づくりの竹の容器で作った箸で食べられるそうめんは格別。お腹一杯になった参加者が、苦しうに坂を登る場面もありました。

## 義援金 ありがとうございます

南島原市では、「霧島山(新燃岳)噴火被害」、「ニュージーランド地震」被災者救援活動の支援のため、市役所各庁舎に募金箱を設置し、義援金・救援金の受け付けを行ってきました。

義援金・救援金の受け付けは3月末で終了し、日本赤十字社などに送金しました。その結果をお知らせします。



**220,063円**

(宮崎県共同募金会へ)



**82,832円**

(日本赤十字社長崎県支部へ)

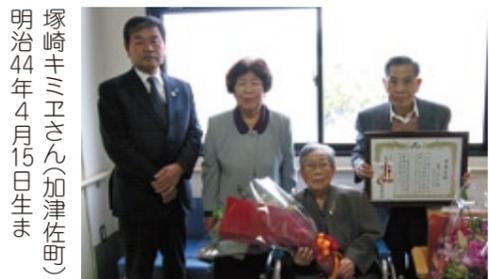
皆さまの温かいご支援、ありがとうございました。

## 100歳おめでとうございました

～いつまでもお元気で～



藤田キワノさん(有家町) 明治44年5月6日生まれ



塚崎キミエさん(加津佐町) 明治44年4月15日生まれ